

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく暮らし続けることを支援し助け合い安心して、笑顔のある生活を過ごせるような理念を作っている	○	ホーム理念を元に毎日のケアを支援していきたい
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝、昼申し送り時にホーム理念と接遇心得を唱和し実践に向け取り組んでいる	○	管理者、職員は理念を周知し、日々実践している
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議、家族会の実施又地域の行事に参加する事でホーム内の生活と役割について理解頂けるよう伝えている	○	家族、地域に対してグループホームの役割を伝えている
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	法人内はもとより食材の業者、ガソリンスタンドの近隣の方達とも挨拶を交わし日常的な付き合いが出来るよう取り組んでいきたい	○	近隣の方達と交流を待ち日常の暮らしの中に馴染みの関係を作っていきたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の運動会参加、園児、小、中学生の慰問を受けたり、さげもんや足場に出かけたりして地域活動に参加して地元の人々との交流に努めている	○	地域活動の情報を集めより多くの行事に参加していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の研修や啓発の場に参加し知識や実践経験を地域の人々に向けて活かすよう取り組みたい	○	運営推進会議等で専門的な知識や実践経験を地域の人に向けて活かすことの出来るよう話をしている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は職員間で検討し具体的に出来る所から改善に取り組んでいる	○	評価の意義と狙いを前向きに取り組んでいる
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告や情報交換を行い会議メンバーによる意見や情報を頂いている	○	2ヶ月毎に会議を行い素直な意見を頂き、サービスの向上に活かしている
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営や現場の問題点など対応困難なときは担当者の意見やアドバイスを貰っている	○	市町村担当者と連携してサービスの向上に取り組んでいきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や制度についての重要性を考えるも学ぶ機会は少ないb	○	学習会を開き理解してもらう
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	支援する中で利用者に対しての言葉使い、態度に行き過ぎた行為がないよう配慮に努めている	○	併設施設での勉強会、接遇参加を行い、再度ホーム内の勉強会、申し送りにて意識付けをしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族等の不安、疑問点に対して十分な説明を行い納得、理解して頂いている	○	十分な説明を行い理解、納得していただき手続きを行っている
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置したり思いや不満等を本人からの意向として聞き検討し速やかな対応を行い改善するよう取り組んでいる	○	改善すべき事は速やかに検討し対応を行っている
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム内での暮らし方や行事、エピソード等、何らかの変化や問題等があったときには訪問時にはその都度状況報告を行っている	○	健康状態や問題が発生したときは細かく報告している
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置したり家族会などでの家族同士の集まりの場で出された意見内容の課題は検討している	○	出された課題は職員間で検討を行い解決に向けて取り組んでいる
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニットの話し合いや勉強会等で意見や提案に耳を傾け日々のサービスに活かしている	○	働く意欲の向上や質の確保につなげている
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状態や状況の変化に柔軟に対応を行い安心して生活できるような勤務ローテーションを組んでいる	○	急病や緊急な休みの時には対応できる体制に調整している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職を最小限に抑え、職員交代あるときは新人と重複するような勤務で対応して利用者には不安を与えないようにしている</p>	○	<p>離職を最小限に抑えるように努力している</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>人権を尊重し個々の多様な個性を尊重しその能力が發揮できる環境作りに配慮している</p>	○	<p>安心して生き生きと働ける職場に取り組んでいる</p>
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権を尊重する事は人としての基本と考え人権教育、啓発活動は日常的に取り組んでいる</p>	○	<p>勉強会や研修会参加を促している</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>立場や経験の段階に応じて、内外研修を受けてもらい、技術、知識向上に向けている</p>	○	<p>研修会に参加し習得した事を勉強会や申し送り時に報告したり実践に生かしサービスの向上を図っている</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互訪問はないが同業者ネットワークに加入した事により研修等に参加することで少しずつ交流が出来ている</p>	○	<p>ネットワーク参加により地域同業者との交流を図りサービスの向上を図りたい</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月1度、管理者と職員の話し合いの機会を設け上司や同僚とのコミュニケーションを図りストレスが軽減する為の工夫や環境作りに取り組んでいる</p>	○	<p>職員のストレスが軽減できるよう配慮している</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	やりがい等、向上心が持てる職場環境や条件を日ごろから把握して継続して働けるよう健康診断等必要な支援をしている	○	健康管理を行い働きやすい職場に取り組んでいる
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず面会を行い本人の思いや不安を受け止め安心し納得できるように努めている	○	本人を理解し信頼関係を築いている
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで家族が求めている事のニーズが何なのか話を十分に聞き理解し受け止めている	○	家族の状況を把握して信頼関係を築いている
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族のニーズや要望をもとに他の機関との連携を図り対応している	○	必要としている支援を見定め対応している
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者がサービスの場に徐々に馴染み、安心、納得しサービスを利用できるように支援の工夫を家族と相談し共に行っている	○	人間関係を築きながら利用の場を広げている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長年の生活の中で本人が身につけていた技能や文化、生活上の知恵を学んだり、共に支えあう関係を築いている	○	共に暮らすもの同士として喜怒哀楽を共感し理解していききたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人やその家族の言動に対する理解をし家族を支援される一方の立場におかず一緒に本人を支えていけるよう努力している	○	家族との情報交換を密に行い共に支えていきたい
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族との距離が離れると心配されるので電話を掛けたりして家族との絆を大切にしていけるように支援している	○	家族を忘れないよう、疎遠にならないよう支援している
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	住み慣れた地域の中で付き合いのあった人達や場所との関係が途切れないよう、馴染みの生活スタイルが継続できるよう支援に努める	○	本人、家族の希望する馴染みの関係は家族の協力が必要である
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	会話しながらお茶を飲んだり、作品を作ったりテレビを見たりして利用者同士、関わり合いながら過ごされるよう支援している	○	利用者同士の関係や個性を活かし支えあえるように配慮している
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も相談や支援に応じている	○	関係を断ち切らない付き合いを大切にしたい
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望、意向等、日々の行動や表情から組み取り本人の視点に合わせて支援している	○	生活に役割を持たせたり本人本位のケアマネジメントを作成している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活環境を継続し本人、家族の馴染みの関係を積み重ねていくように努めている	○	安らぎと自分らしく暮らしていけるような支援をしている
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の日常の過ごし方、心身状態等現状をよく理解し有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう支援している	○	出来る事、分かる所を本人の生活や全体像から理解し暮らしの中での生活リズムを把握する
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、関係者と話し合いその人に適したケアの創意工夫を繰り返し介護計画を作成している	○	3ヶ月毎の見直し、6ヶ月毎に作成している
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に実施期間を明示しているが期間終了前に状態変化があれば速急に見直しを行っている	○	現状に即した見直しを行い新たな介護計画を作成している
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録等は明確に個別に記録しケアの実践は介護計画で見直している	○	申し送り時、ケア内容、実践結果を報告している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々々の本人と家族の状況や要望に向き合い、暮らしを守る為にその時々々に必要な支援をしている	○	単にサービスの組み合わせとしての多機能ではなく、本人、家族の暮らしを守る為の多機能となるよう支援する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じて地域資源を少しずつでも活用している	○	民生委員や地域の人達の協力を得て地域資源を活用して取り組みたい
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	理美容サービス、訪問歯科サービス等必要に応じたサービスを受けられるように支援している	○	必要に応じて選択肢を増やしていく
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター等と協働しながら必要に応じて本人本位の支援につなげている	○	困難事例や解決できない問題について協働しながら支援したい
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望を大切に、利用者の自由な選択により、納得が得られた、かかりつけ医と適切な医療を受けられるよう支援している	○	適切に医療介助の支援をしている
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医師との信頼関係を築き、相談しながら認知症に関し適切な助言や治療を受けられるよう支援している	○	認知症医療に関する診断や治療を受けられるよう支援する
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理や状況に応じたの医療活用は馴染みの看護職員で支援している	○	利用者の健康管理と早期発見に取り組んでいる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時でも安心して過ごせるよう定期的なお見舞いや訪問をして出来るだけ早期退院できるよう病院関係者との情報交換や相談に努めている	○	医療機関と相談しながら早期退院できるよう支援している
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から話し合いを持ち、かかりつけ医と本人、家族の意向を確認し対応方針を共有していきたい	○	本人や家族に不安を与えないように繰り返し話し合いを持つ
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期に向けた支援はしていない	○	看取りについての研修の参加は考えている
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	不安にならないよう関係者との情報交換を十分に行い環境や暮らし方の継続性に配慮している	○	住み替えによるダメージを防ぎ移行先への生活環境等の継続に必要な援助を行っている
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	援助者それぞれが守秘義務を守り、プライバシーに関する情報の取り扱いや言葉掛けの対応に十分気をつけている	○	利用者の尊厳と権利を守るよう支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望や好みを把握し一人一人の力に合わせて、自分で決められるようにそれらを促す取り組みを行っている	○	意思表示が言葉等で出来ない利用者にも表情や全身での反応を注意深く見逃さない様見守っている
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者1人1人のペースを大切にしながら本人の意思決定を尊重するような日常的な姿勢でどのように過ごしたいか希望に添って支援している	○	職員の都合を優先しないようにしている
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみやお洒落は自分で好きなように出来るよう支援している理美容は訪問理容を利用されている	○	本人のこだわりを大切にしている
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備、片付けをし生活への参加をしてもらい又同じテーブルを囲んで会話したりして食事を取っている	○	食事は楽しみながら食べるようにしている
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好みや意向を大切に1人1人の状態に合わせて日常の献立や調理に活かしている	○	状況にあわせて手作りオヤツ等を作り楽しんで貰っている
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1人1人の排泄パターンを把握し、排泄の失敗を減らし又排泄環境を整え気持ちよく排泄できるよう支援している	○	現状を把握して、オムツ使用を減らし可能な限りトイレでの排泄を促している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人のペースや気分に合わせて、季節感を味わってもらう為ゆずやとそ風呂等で入浴を楽しめるよう支援している	○	利用者の希望、都合等の意向を聞いてくつろいでの入浴に努めている
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者1人1人の睡眠パターンを把握し夜間眠れない等、不眠時には1日の生活を見直す等その都度対応し気持ちよく安眠できるよう支援している	○	生活のリズムが乱れての不眠の訴え時には医師に相談している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることに目を向け、役割や生きがいを生活の中で見出しお茶会や行事等の参加を促し張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう努めている	○	楽しんだり、気晴らしできるように季節に合わせてドライブ等行っている
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人管理のもと、お地藏さん参り時のお賽銭位はもたれている	○	家族の協力を得ている
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車椅子の方達も日々の散歩やお地藏さん参り又はドライブなど積極的に声かけ行い外出を心掛けている	○	年間行事の中にも季節ごとのドライブ等入れている
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族等の協力により法事や旅行などの外出が見られる	○	家族とのふれあいに喜ばれ外出希望が聞かれる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族、友人、知人からの電話や手紙のやり取りは自由に行われている	○	プライバシー等に配慮し外部との交流を支援している
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	宿泊できることを説明したり友人、家族等の馴染みの人達と一緒に居室やホールなどでもお茶を飲んだり、ゆっくりと過ごして頂いている	○	馴染みの方達の訪問は喜ばれる為帰られる時には再度の訪問の声かけをしている
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケアの基本として人権を守り身体拘束、精神的弊害の内容を認識し拘束しないケアに取り組んでいる	○	職員は拘束によって利用者が受けるダメージについて理解している
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	離設行為等あるときは職員同士が声かけ、見守りを行う事で居室や玄関に日中鍵を掛けることはない	○	利用者の安全を確保し連携を図りながら支援している
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら見守りやすい位置にて所在や様子を把握している	○	プライバシーや人権に配慮して利用者の様子を察知している
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品については保管場所を決めており、管理を徹底し危険を防ぐ取り組みをしている	○	管理方法を決め危険防止に努めている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態から考えられるリスクや危険を検討し事故防止に努めている	○	利用者の状況に応じて想定される事故防止について職員間で検討している
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時に備えマニュアルを作成している。応急手当や初期対応等は勉強会等で学習、訓練している	○	全職員が発生時の適切な対応が出来るよう再度学習を行っていきたい
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災だけではなく他の災害に対しても確実な避難誘導が出来るよう日頃から話し合い取り組んでいる	○	災害時の協力を地域の方達にも得られるよう取り組みたい
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人一人に起こりえるリスクについて家族に説明し対応策を話し合っている	○	安心して生活できるよう話し合いを繰り返す
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック実施で利用者の状態把握を行い異変時には報告を行い医療機関と連携し早期対応している	○	病状の早期発見、対応に努めている
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の内容、副作用の説明を行い、病状の変化等は確認、報告するように指導している	○	誤薬のない様に幾重にも薬、名前の確認を行っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材の工夫や水分で対応したり適度な運動を日課に取り入れて工夫しているか、内服でコントロールする時もある	○	毎日、自然排便できるよう支援していく
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い、口臭や舌苔が生じないようにチェックを入れ不十分な人には介助を行い清潔保持に努めている	○	訪問歯科を利用されたりケア後は緑茶でうがいしたり習慣的に歯磨きが行えるよう支援している
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるカロリー計算を元に季節の野菜、果物などの食材を使い、バランスの取れた献立を提供している。食事、水分のチェックは毎回記載し把握している	○	暮らしの中に必要な食事、水分を状態に合わせて取れるように支援している
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルを作成し予防、早期発見、早期対応に努め勉強会を行っている	○	予防や早期発見が大事と考え、感染症の流行や対応策についての情報を得る努力をしている
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮で安全な食材も温野菜で使用し調理器具、食器等も衛生管理に努めている	○	調理用具、食材の安全、清潔を保つように努めている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は緩やかなスロープに続き明るく段差もなくし、車椅子や老人車でも安心して出入りが出来るように工夫してある	○	玄関周りは安全に出入りできるように心掛けている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間に季節の花をいけたり、飾り棚には写真や小物を飾り、利用者にとって家庭的な雰囲気の中で居心地よく暮らせるように工夫している	○	自宅の延長としてその人らしく過ごせる共用の場として工夫している
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で独りで過ごしたり、利用者同士で会話できるようにソファ、テレビ等を配置している	○	思い思いに過ごされるよう支援している
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	筆筒、時計、椅子等家族の協力を得て馴染みの物を居室に置き、安心して過ごせるよう工夫している	○	本人、家族と相談しながら馴染みの物を生かしその人らしく生活出来るよう支援していく
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	時間毎に換気をし、空気のおよみがないよう努めている。利用者の状態や反応を見ながら温度調整は細目に行い、加湿器も設置している	○	空気の入替えや温度調整は行っている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1人1人の機能に合わせ廊下や居室に手すりを設置し安全に移動出来るよう、生活の場としての環境作りに取り組んでいる	○	自立した生活が送れるように支援している
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の分かる力を見定めたり、居室の入れ口に表札を掛けたり、行動の失敗がないよう支援している	○	利用者の認識間違い、判断ミスを最小にする工夫をしている
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	植木の手入れや水遣り、洗濯物や日向ぼっこ等出来るよう、玄関先や花壇、ベランダ等を利用者がいつでも散歩等を楽しんで活用出来るように活かしている	○	戸外スペースを活用していきたい

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域密着型のグループホームとして、地域の応援が少なく、資源の利用や行事参加の声かけに力を入れ取り組んでいきたい。
- ・施設周りの畑に野菜を作り、無農薬野菜を提供出来る事が嬉しかった。今後も作っていきたい。